

- 研究会／国際会議タイトル Finite Density QCD
- 責任者氏名、所属 中村純、広島大学情報メディア教育研究センター
- 日程 2003年7月10-12日
- 開催場所 奈良県新公会堂
- 講演者数 42
- 参加者数 (国内／国外) 44/25
- 内容
有限密度におけるQCDの振る舞いについて、格子QCD、現象論、有効理論等の立場から多面的、総合的な討論を行う
- 研究会／国際会議で行われた議論／成果
有限密度・温度におけるQCDの相構造、低密度での格子QCDの計算結果、有効理論の計算結果、原子核中でのカイラル対称性回復の可能性、中性子星/クォーク星、カラー超伝導、新しいアルゴリズムなど
いろいろなアプローチから議論が行われ、有限密度系の理解には多面的なアプローチが必要であることが強く認識された。

付記：ワークショップ期間中に、奈良国立博物館において、ドイツ・ビーレフェルト大学、B.Petersson教授により、「素粒子の閉じ込め - 閉じこもるべきか、閉じこもらずべきか・宇宙の中の素粒子」という題で、市民講演会が行われた。またポスターセッションで、若手2名の方を、ベストポスター賞に選んだ